Ｒｅｐｏｒｔｅｒ　Ｂｌｕｅｓ（1991）

メディア TV　アニメ
ジャンル
製作国　日本
色彩　Color
TV放映　1991/10/03 ～ 1991/11/08
NHK BS2

【解説】
　イタリア国営放送RAIと日本の東京ムービー新社（TMS）が製作したTVアニメシリーズ。他社と異なりTMSが携わった海外向け作品は日本側のキャラクターデザインを活かすことが特徴の一つだが、本作も名アニメーターである杉野昭夫のものが採用された。時は第一次世界大戦後の1920年代。フランスの新聞社「LA VOIX DE PARIS」で働く一人の活発な美人記者がいた。その名はアントワネット・プラトゥ。トニーの愛称で親しまれる彼女は、相棒のカメラマンである青年アラン、チーフのシャイヨ、その秘書で星占い好きの女性ウラリア、さらにトニーの愛猫フィリッポたちとともに様々な事件を日夜追う。オフの時はマークたち多くの仲間が集まった音楽グループ「パリ・ブルース」でサックスを奏でるトニーだが、フランスだけでなくヨーロッパ各地に出没する女賊マダム・ラパンとその部下イゴーの悪事は決して見逃さない。持ち前の行動力をふるい、トニーとアランはマダム・ラパンの犯罪計画に挑むが。本作はTMSの作品らしくハーモニー方式を用いた画面も散見。作画にはビーボオーら日本のアニメスタジオも参加している。

【クレジット】
監督　こだま兼嗣
企画　マルコ・パゴット
原案　マルコ・パゴット
作画監督　杉野昭夫
　　我妻宏
　　山本天志

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.